

第1章

海外スタートアップへの投資も加速が クロスボーダーCVCに 関する投資・市場の動向

【この章のエッセンス】

●日本企業によるCVCの設立および資金調達は、引き続き増加傾向にある。

●国内のVC投資市場も引き続き拡大傾向であるものの、新たな投資先を求めて海外のスタートアップへの投資を加速させるCVCも多い。

日本国内のスタートアップによる資金調達の状況とCVCの動き

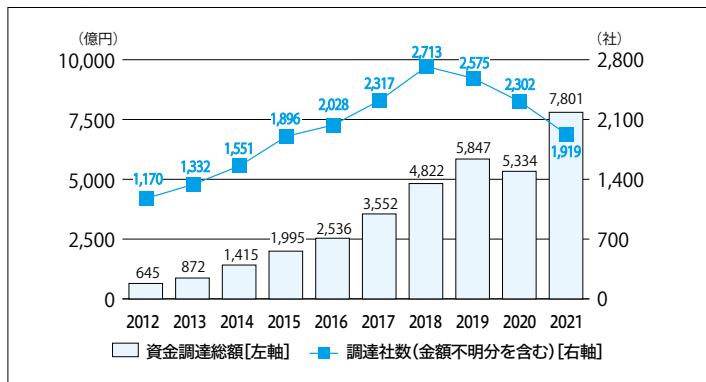
(1) 日本国内のスタートアップ

による資金調達の状況

日本国内のスタートアップによる

資金調達額は、コロナ禍の影響を強く受けた2020年を除き、引き続き増加傾向にある。INITIALによる調査によれば、スタートアップ企業への投資額は2021年には過去最高額の7,800億円超を記録し、この金額は2012年度の645億円と比して、10年で実に10倍以上の金額となっている。他方で、投資金額が10倍に増えたとはいえ、資金調達を行ったスタートアップ企業の数には投資金額ほど伸びていない。

(図表1) 国内スタートアップ資金調達額・調達社数推移



(出所) INITIAL「2021 Japan Startup Finance 国内スタートアップ資金調達動向」8頁から抜粋

ある(図表1)。投資家目線からみると、よいスタートアップ企業の資金調達案件に参加するため、競って投

資先を探しているというのがここ最近の状況といえる⁽¹⁾。

(1) なお2021年末より世界的な株安等の影響を受け、スタートアップによる資金調達は減速している。本特集においてはその影響の分析までは行っていない。

(2) CVCの動き

日本の事業会社によるスタートアップの投資活動(コーポレート・ベンチャー・キャピタル、以下「CVC」という)も同様に加速している。同INITIALの調査によれば、2012年には10件にも満たなかった事業法人系の設立ファンドの数は2021年に30件となり、ファンド総額も84億円から830億円と約10倍になった(図表2)。

実際にCVCによる投資件数も順調に増加している。STARTUP DBの調査によれば、2017年から2021年まで5年連続で投資件数は伸びており、2021年には361件となっている(図表3)。

世界のスタートアップ投資の市場規模

CVC投資を行う多くの日本企業は国際的に事業を展開しており、狙うべき市場は日本市場のみではない。図表4は世界の主要な地域および